

環境保全・地域貢献レポート



びわぎん緑と水の基金助成事業

(大津市立逢坂小学校：ぼてじゃこのすむビオトープの池)

ビオトープとは生き物の生活空間のことを意味します。逢坂小学校PTAは、いろいろな生き物が生息する自然と人間が共生できる場所をつくろうと、もともとあった観察池を改造されました。児童が自然のすばらしさや生命のつながりについて学ぶ場所になっています。



授業でビオトープを学びます



モリアオガエルの卵を観察



モリアオガエル誕生



みんなで止めよう温暖化

チーム・マイナス6%

びわこ銀行は政府が呼びかける“チーム・マイナス6%”の趣旨に賛同し、温暖化防止のため「環境銀行」の取り組みをはじめさまざまな活動を行っています。

BiwakoBank

夢のある環境ビジネスを応援します

■■■ 環境銀行

「環境銀行」では、産業界の新しい分野として確立されつつある「環境関連事業」をご融資など銀行本来の業務を通じて支援していこうと考えています。

地域社会への貢献

- 自然環境保全活動への助成
- ボランティア活動への参加

銀行運営上の取り組み

- ISO14001認証取得
- 環境対策の実践

環境銀行

個人のお取引先

- ご預金等をお預けいただき環境保全活動へ間接的にご参加
- 資金ニーズへの対応などご家庭のエコライフをサポート

事業を営むお取引先

- 事業内容に応じた多様な環境コンサルティング機能
- 環境対策を通じて事業の継続的發展をサポート
- 新規参入を含め環境関連事業をバックアップ

行内組織により、効果的な機能が発揮できる運営体制としています。

● 環境関連事業委員会の設置

コンサルティングや環境関連商品の充実等、環境銀行が有効に機能するための委員会を設置しています。

● 専門機関との提携

充実したコンサルティング業務を行うため、多くの専門企業・大学等とタイアップしています。

活動内容は四半期ごとに情報開示します。

● 環境部門を明確に区分することにより、ご理解いただきやすい事業報告を実施していきます。

- 決算報告：半期ごと（9・3月）に内部管理手法に基づく損益情報を開示
- 取扱商品の残高：四半期ごと（6・9・12・3月）に取扱実績を開示
- 助成実績：期間中の助成については金額、交付先を開示
- その他、環境保全に関する活動実績の開示

環境サポートローン

3R（リデュース・リユース・リサイクル）をキーワードとしたビジネスシーン拡大に対応し、事業者向けに目的別の5プランをご用意し、優遇金利を設定しています。

- クリーン設備プラン …… 大気汚染・水質汚濁を防止するための設備資金
- 省エネ設備プラン …… 省エネルギー対策のための設備資金
- リサイクル設備プラン …… 資源のリサイクルを行うための設備資金
- 土壌汚染改良プラン …… 土壌汚染の防止・改良のための設備資金
- 環境産業支援プラン …… 環境関連産業を営む事業者向けの設備資金

ISOサポートローン

ISOをはじめ、各種環境規格の認証取得に要する資金に対応します。

エコライフプラン

環境にやさしい住宅・マイカーのために3つのプランをご用意して優遇しています。

- 住宅ローン …… 環境配慮型の住宅を建築するための資金
- リフォームローン …… 自宅に環境配慮型設備を設置するための資金
- オートローン …… 低公害車を購入するための資金

環境コベナンツ付融資

企業の環境目的の達成状況により適用利率を変更する新しいタイプのご融資です。

例えば、新しい省エネ設備を導入した場合、1年後に成果が出ていれば、ご融資利率を優遇するという特約を交わします。地域金融機関として、ご融資がどのように使われ、生かされているかを検証する機能を重視しています。

土壌汚染対策にも力を入れています

土壌汚染簡易診断システムを取り入れ、土壌汚染懸念物件の担保調査および担保評価手続きを厳格に行い、汚染が認められる場合には浄化されるまで新たな担保設定を禁止しています。

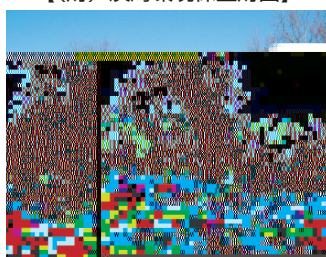
エコライフ定期預金の取り扱い

お預かりした預金残高に応じ、一定割合を環境保全活動に寄付する「エコライフ定期預金」を取り扱っています。間接的に地域の環境保全に取り組むことができる商品性を多くの人に評価していただき、残高を順調に伸ばしています。

平成17年3月には、平成16年10月末の残高に基づき、487万円を次の県内の環境保全3団体に寄付しました。



【(財) 淡海環境保全財団】



ヨシ刈りボランティア
(守山市：平成17年)

【(財) 滋賀県緑化推進会】



サクラの植樹
(草津市 平湖：昭和60年)

【(財) びわぎん緑と水の基金】



砂ずりの藤保存活動への助成
(草津市 三大神社：平成9年)

環境銀行の決算

環境に関する資金調達と運用を明確にし、環境銀行の損益を公表しています。

●びわこ銀行の環境関連事業活動のみの報告書です

(単位:百万円)

	平成16年3月期	平成17年3月期
※1 環境関連融資に対する利息です。	73	330
	65	312
	26	47
※2 エコファンド窓販手数料、コンサルティング手数料などが含まれます。	38	265
	0	0
	7	17
	—	—
※3 エコライフ定期に係る利息です。	41	270
	4	22
	4	22
	—	—
	1	6
※4 原価計算を用い、環境関連事業の経費を算出しています。	△1	2
	37	239
	—	—
経常利益	31	60

※環境銀行の設立は平成15年7月です。

「環境銀行」は受け継がれてきた企業風土の集大成です

長年続く地域清掃ボランティア活動

当行では、地域の清掃活動をはじめ、長年にわたり役員によるボランティア活動を地道に続けてきました。「ボランティア活動推進委員会」を設置し、ボランティア休暇制度をはじめとした支援体制を整えるとともに、地元で開催されるさまざまなイベント・行事、自主的な清掃活動などにも参加し、地域社会とのふれあいを大切にしています。



「びわこ水源の森林(もり)づくり」ボランティア活動

苗木の寄贈

昭和50年、栗東市で開催された第26回全国植樹祭を機に、「きれいな水は豊かな緑から」との思いで、県内の学校や公園、社寺へ苗木の寄贈を開始しました。今では県内多くの場所で美しい花を咲かせています。その後、毎年春と秋に滋賀県緑化推進会を通じ、サクラやモミジなどの苗木寄贈を継続しており、平成17年3月現在、累計11万4千本に達しています。



ライラック
(大津市立栗津中学：昭和63年寄贈)



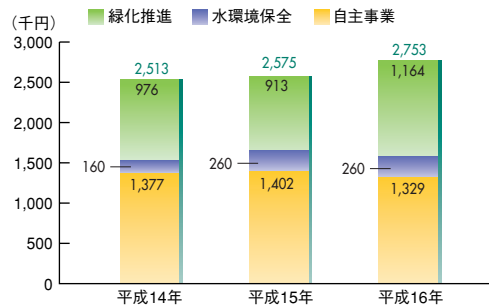
シダレザクラ
(田上山砂防協会
第三回地域記念植樹：平成11年寄贈)

びわぎん緑と水の基金による助成

平成4年の設立以来、県内で緑化推進や水環境保全に取り組む自治会やNPOなどによる身近な地域の環境保全活動を見守り続けています。



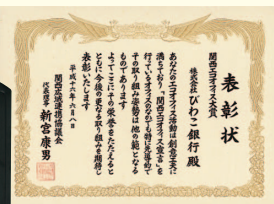
【「びわぎん緑と水の基金」による緑化・水環境保全活動】



おかげさまで

●関西エコオフィス大賞 「大賞」

(関西広域連携協議会)



●グリーン購入大賞

「優秀賞」

(グリーン購入ネットワーク)



●第8回環境経営度調査「金融部門第1位」(日本経済新聞社2004年12月発表)